みんなの文芸

榎本順江選　投稿数14句

小春日や羅漢五百の顔揃へ

三沢　新井　叶子

(評)小春日は、晩秋から初冬に掛けての春の様な暖かい日。五百羅漢は、釈迦の弟子で五百人の聖者。寺の境内に並ぶ五百羅漢の像は皆異なる表情でユーモラス。見る人に語り掛けてくれる様。五百の顔に会い心の中まで小春。二句目、町がまだ動き出さない早朝の庭に佇つ。変わり行く回りの景色や触れる空気は晩秋。もうすぐ来る厳しい冬をしみじみ思う朝。三句目、巡礼か二寺参りか、結願寺は近くの水潜寺と思う。山深い寺の境内に響く読経と舞い散る黄葉の中、結願寺は近くの水潜寺を感じます。

庭に佇つ朝の静寂や冬隣　皆野　根岸　詩子

母の手のジャム作る午後ゆず香る　皆野小6年　太幡琉美花

黄葉舞う読経の響く結願寺　国神　藤原マキ子

荒れる庭よ一輪の冬薔薇よ　皆野　豊田喜美恵

花柊白寿の喪中葉書かな　三沢　眞下　杏子

秩父路や車窓に揺るる枯すすき　下日野沢　新井　進

手作りの白菜キムチ赤き嵩　三沢　新井　民子

豊作の蜂屋戴き剝く夜鍋　下田野　新井　節子

丹精の大輪並ぶ菊花展　皆野　村田ハツ代

ハンガーも借り出されたる大根干し　皆野　引間　千鶴

短歌　全17首

年金で億円なんて縁がない我も見ているゴーン氏ニュース　上日野沢　四方田利男

里山に住む人なくてシュウカイドウだれに見せよか今年も咲けり　下日野沢　新井　進

孫娘四人目の女子出産し元気産声タブレットにて　皆野　村田ハツ代

豊作の小豆穫ろうと矢先こと鹿の餌となり唖然とするや　国神　藤原マキ子

ならし終えレッドにぶち込む直管のマイフェアレディ超フル加速　皆野　石原　達也

娘の詠みし短歌や俳句に感動す年寄るわれの糧となりたり　下日野沢　浅見　豊子

並走のトレーラー積載重機のキャタピラー樫楢クヌギ落葉一杯　皆野　戸塚喜久雄

美の山の麓に嫁して三十五年終の棲家に紅葉散り積む　皆野　豊田喜美恵

来て嬉し無事に帰してまた嬉し暫し祭りの余韻にひたる　皆野　引間　万亀

裸木となりて眠れる期なれど朽葉を糧とし春を待つらむ　三沢　新井　叶子

掘り起こし土塊こなし麦蒔きし父母偲びつつ耕耘機押す　三沢　眞下　杏子

身辺りの才月早し年の暮ひしひし迫る吾が足元に　皆野　根岸　詩子

ダム湖過ぎ中津仙境入りなば紅葉と岩肌朝日に映ゆる　三沢　新井　民子

美の山の秋も深まり黄葉の銀杏彩る国道バイパス　皆野　打木　昭広

暗い庭見つめて健気忠犬よ待っても父は今夜も会議　皆野小六年　太幡琉美花

娘の手術無事に終わってまず安堵帰りの車中笑みも溢れる　下田野　新井　節子

姑の食ふペースト食の赤と黄と緑の風や山の紅葉か　三沢　鈴木　貞恵

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記してみらい創造課までお寄せください。

4日必着

1人1句、1首に限ります。

今月の題字

皆野小4年　南　心綺さん

児童の見守り放送

皆野小2年　中村　泰士さん

1歳のお誕生日おめでとう

芽愛ちゃん

戦場・土京区
松村　赳志さん
千秋さん

いっぱいたべて
いっぱいねて
大きくなぁれ

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

2月号の締め切りは、1月10日(木)まで。

問合せ　みらい創造課
☎26-7334